

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
R3	発生なし								
R2	1月 10:00～10:30	土木工事業	1～9	一般土木作業員	40代	25年	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	被災者と交通誘導員の2人が、下水管清掃作業終了後、被災者がマンホールから地上に出ようとしたところ、頭部を一般車両にひかれてマンホール内へ墜落したものを。
R2	7月 0:00～0:30	その他の事業	100～299	管理者	30代	5年	その他	起因物なし	繁忙な業務や上司からの叱責により精神障害(うつ病)を発症し、自家用車の中で練炭自殺したものを。
R2	7月 14:30～15:00	金属製品製造業	10～29	製造工	70代	19年	転倒	通路	工場内でスポット溶接機を使用して作業していたところ、何らかの理由で片膝をついてしゃがみこんだ後に転倒し、右前頭部を設備に強く打ち付け、当該打撲が原因で6日後に死亡したものを。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
R1	発生なし								
H30	8月 12:00～12:30	製造業	300～	技術者	50代	0年	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	海外出張中に乗用車で移動中、交差点を直進した際、信号無視の相手車両が自車の左側後部に激突し、後部座席に乗車していた被災者が車外へ投げ出され、頭部を強打したものの。
H30	12月 8:30～9:00	建設業	10～29	作業員	60代	8月	崩壊、倒壊	建築物、構築物	個人宅の解体作業を行っていたところ、土壁が倒壊し、被災者が下敷きとなったものの。
H29	2月 17:00～17:30	建設業	1～9	作業員	70代	20年	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	建屋解体工事現場でスレート屋根をはがす作業終了後、地上に降りようと梁の上を移動していた際に、約7.5m下の地面に墜落したものの。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H29	3月 12:00～12:30	製造業	50～99	作業員	40代	10年	火災	引火性の物	出張先において被災者が、アタッチメントとしてクランプを装着したフォークリフトを使用し、ドラム缶内の廃油等が混ざった残渣を鉄製のパレットに入れていたとき、何らかの原因で廃油が引火し爆発炎上した。このとき、被災者に引火し、死亡したものの。
H29	4月 16:00～16:30	建設業	1～9	作業員	60代	43年	分類不能	分類不能	被災者は、雨樋の取り付けのため足場上で単独作業をしていた。足場の上から物が落ちてきた音を聞いたとの連絡を受けて、現場代理人が足場を確認したところ、足場で倒れている被災者を発見した。病院に搬送されたが、後日死亡が確認された。
H29	5月 12:30～13:00	製造業	50～99	作業員	10代	1年	飛来・落下	金属材料	コイル(ロール状の鉄板)を切断加工するスリッターにおいて、被災者は、コイルを供給する装置であるアンコイラーへ重量11.92tのコイルをセットする際、コイルカー(アンコイラーへコイルをセットする装置)から転落した当該コイルに激突された。
H29	8月 11:00～11:30	清掃・と畜業	10～29	収集員	40代	4月	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	家庭ゴミの収集中において、ゴミ収集員である被災者が突然倒れ、熱中症により死亡したものの。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H29	12月 10:00～10:30	貨物取扱業	30～49	作業員	50代	5年	飛来・落下	人カクレーン等	重量2.5tの旋盤をトラックから降ろし、指定場所へ設置する作業中、旋盤の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、当該旋盤をジャッキで上げたところ旋盤が落下し、作業員が下敷きとなった。
H29	12月 15:30～16:00	清掃・と畜業	50～99	清掃員	40代	5年	有害物等との接触	有害物	被災者は、下水管の詰まりの解消作業前に、作業する箇所写真撮影のため、保護具を使用せずにマンホール内に進入した。その後、マンホール内に座り込んで倒れているのが発見された。マンホールには硫化水素が充満しており、中毒症状を発症したものの。
H28	4月 0:00～0:30	建設業	50～99	作業員	40代	29年	その他	起因物なし	車内で亡くなっている被災者を通行人が発見したものの。
H28	4月 9:00～9:30	製造業	100～299	作業員	70代	8年	墜落・転落	トラック	被災者は、トラックに段ボールを積み込み後、段ボール箱を計数のために昇降していた際に、トラックの荷台又はトラックの後方のステップから墜転落し死亡した。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H28	7月 22:00～22:30	商業	10～29	管理者	40代	12年	交通事故 (道路)	トラック	本社所有の普通貨物自動車を返却するため、事業場から本社へ向け、当該自動車を運転していたところ、赤信号で停止していた大型トラックに追突した。
H28	12月 9:30～10:00	その他の 事業	10～29	警備員	50代	1年	激突され	乗用車、バス、バイク	店舗駐車場内の交通整理業務中、被災者は乗用車を駐車しようとしていた客に声をかけたところ、乗用車が運転席のドアを開けた状態で後方に急発進し、体にドアが強く当たり転倒、後頭部を強打したものの。
H27	7月 14:00～14:30	建設業	1～9	防水工	40代	4年	高温・低温の 物との接触	高温・低温環境	建物屋上で防水作業を行っていた被災者が、午後2時頃に熱中症による体調不良を訴えたため、現場近くの病院に搬送しようとしたが、被災者が自宅近くの病院の治療を強く望んだため、自家用車で希望の病院へ搬送することにしたが、その途中、容態が急変し、急遽、救急車により搬送、入院による治療を行ったが、熱射病による多臓器不全により死亡した。
H27	9月 13:00～13:30	製造業	10～29	その他の職 種	40代	4年	その他	起因物なし	事業場内で気分が悪くなり横になっていたところ、頭痛を訴えたため病院に搬送されたが、4日後にくも膜下出血により死亡した。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H27	11月 22:00～22:30	運送業	100～ 299	運転者	40代	8年	交通事故 (道路)	トラック	西名阪自動車道を大阪方面に向かい走行中、低速車を追い越し、走行車線に戻ったところ、路肩から走行車線にはみ出して停車していた故障車の右後方に追突し、ハンドルと車の間に挟まれた。
H26	4月 14:30～15:00	建設業	30～49	解体工	60代	3年	はさまれ、巻 き込まれ	解体用機械	家屋建替工事現場にて、解体用機械(つかみ機)を使用して家屋の解体作業中、廃材を移動させるため解体用機械を左旋回させた際、違和感を感じたため、右旋回し確認したところ、散水作業を行っていた被災者が倒れていることを確認し、その後、搬送先の病院で死亡した。
H26	4月 7:00～7:30	製造業	30～49	製造工	40代	17年	崩壊、倒壊	金属材料	工場において、派遣労働者である被災者が給材架台上の番線結束された溝型鋼(長さ620cm、幅20cm、高さ10cm、重量190kg)14本の束の番線を外したところ、同鋼材が被災者側に崩れてきて、後ろに置かれていた別の溝型鋼の束との間に胸部等を挟まれて窒息により死亡した。
H26	6月 15:30～16:00	建設業	10～29	設備機械工	30代	5年	はさまれ、巻 き込まれ	クレーン	大型設備分解整備作業において、使用していた天井クレーンが走行方向の安全装置(近接防止装置)の故障、誤作動により、北向き走行の操作が不能となったため、被災者がクレーン走行サドル部分の安全装置の点検を行ったところ、走行動作をしたクレーンと歩道手すり補強材に頭部を挟まれたもの。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H26	8月 8:00～8:30	建設業	30～49	土工	40代	24年	はさまれ、巻き込まれ	トラック	工事現場敷地内において、敷鉄板搬入のため、運送業者の運転者が積載形トラッククレーン(最大積載量9.7トン)を後退させていたところ、1次下請事業場の現場作業員が同トラッククレーンの後方荷台部分とドラグショベルのバケットの間に挟まり、死亡したものの。
H26	8月 15:30～16:00	建設業	1～9	塗装工	60代	44年	墜落・転落	足場	改修工事において、被災者が、ステージ足場上での東壁面塗装作業を終え、ビニール養生を撤去していたところ、足場から2階の歩廊に墜落し意識不明の重体で救急病院に搬送されたが、後日死亡した。
H26	10月 12:30～13:00	製造業	300～	作業員	50代	19年	はさまれ、巻き込まれ	クレーン	自動車シート自動搬送装置(スタッカークレーン)で異音発生に伴う異常確認のため、被災者は、自動運転中であった同装置点検用架台の手すりの上に乗し、同装置上部で異音発生の有無を確認しようとしたところ、自動運転により同装置が被災者後方側に走行し始めたため、被災者頭部が同装置の上部フレームと工場建屋の梁に挟まれた。
H26	11月 17:00～17:30	建設業	1～9	大工	50代	36年	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	2階建木造住宅新築工事現場にて、2階梁上で根太を並べる作業を行っていた労働者が、3.68メートル下のコンクリート床へ墜落したものの。

平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H25	1月 16:00～16:30	建設業	1～9	作業員	30代	10年	崩壊、倒壊	地山、岩石	用水管付替工事現場において、縦3.4m、横2m、深さ約3mの大きさに掘削された穴の中で、配管の付替え工事を行っていたところ、縦方向面の壁が崩壊し被災者に激突したものの。
H25	4月 12:30～13:00	製造業	50～99	作業員	50代	33年	交通事故 (道路)	トラック	出張作業に向かうため、自動車で高速道路を移動中に交通事故にあったもの。 高速道路で渋滞のために停車中に、後方から大型トレーラーに追突されたもの。
H25	6月 14:30～15:00	金融・広告業	10～29	営業員	30代	4年	交通事故 (道路)	トラック	交差点内で、右折しようとした被災者のミニバイクと、直進しようとした相手側トラックが衝突したものの。
H25	9月 15:00～15:30	建設業	50～99	運転者	60代	43年	激突	掘削用機械	アンダーパス道路築造工事で、U字コンクリート擁壁築造工程で、コンクリート打設の終了した擁壁裏側の土砂埋戻し工程(裏込め)において、作業従事者のミニバックホーが後進したところ、土止め支保工水平材に激突し、運転手が水平材鉄骨と運転操作レバーに腹部を挟まれたもの。



平成24年～令和3年 刈谷労働基準監督署の全産業死亡災害一覧

発生年	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経験	事故の型	起因物	災害状況
H25	12月 18:30～19:00	その他の 事業	100～ 299	作業者	70代	2年	交通事故 (道路)	乗用車、バ ス、バイク	車両を誘導する警備業務をするため県道の歩道にいた被災者が、 走行してきた乗用車にはねられたもの。
H24	3月 8:00～8:30	製造業	10～29	作業者・技能 者	50代	1月	転倒	フォークリフト	派遣先の鋳造工場2階より鋳造屑を搬出するためフォークリフトで スロープをバック走行していたところ、ガードレールに激突し、フォ ークリフトと共に転倒し、ヘッドガードの下敷きになったもの。
H24	6月 9:30～10:00	商業	10～29	フォークリフト 運転者	60代	29年	はさまれ、巻 き込まれ	フォークリフト	事業場構内のLPガス充填場において、フォークリフトを使用して配 管の塗装作業を行っていた被災者が、フォークリフトのマストとヘッ ドガードの間に挟まれ意識がない状態で発見された。病院に搬送さ れ治療するも一週間後に死亡したもの。
H24	10月 13:00～13:30	製造業	300～	管理者	40代	24年	破裂	化学設備	フッ化水素液の入ったタンクからの液漏れがひどくなったと報告を受 けた被災者が、現場でタンクの確認をしていたところ、タンクが破裂 し、フッ化水素液を全身に浴びたもの。